

生きづらさを抱えた子ども居場所事業

特定非営利活動法人 西脇ととて広場

開設日数

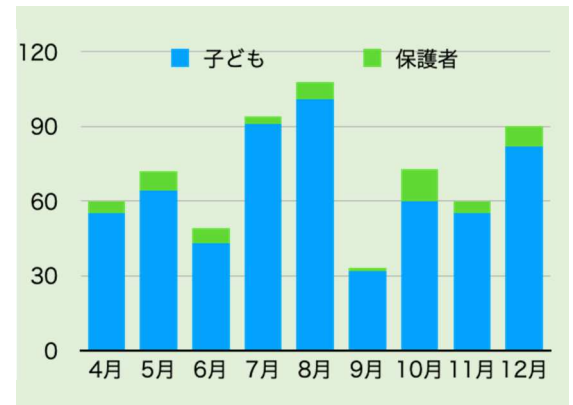
	居場所	体験活動	トワイライト	合計
4月	9	3	11	23
5月	10	4	11	25
6月	9	6	12	27
7月	10	4	9	23
8月	11	2	3	16
9月	8	6	9	23
10月	9	9	12	30
11月	7	5	9	21
12月	9	5	8	22
累計	82	44	84	210

1. 事業の目的

現代社会において、不登校やいじめ問題が増加し、子どもの貧困、児童虐待など、少子化で子どもの数が減っているのに、子どもに関わる社会問題は重く深く広がっています。外国にルーツを持つ家庭も増え、個人の考え方や捉え方が多様化し、昔ながらの家庭教育や学校教育システムの枠にはまらない子どもや家族が出てきています。また、不登校から引きこもりになる、発達障害があるために学校に行きづらくなるなど、二次的な問題も起こっています。行政や学校だけでは、行き届かない子どもたちの居場所を作り、保護者を励ましなが、子どもの育ちを見守ることを第一の目的とします。

2. 活動内容と成果

西脇市内の古民家を借りて、毎週火・土曜日の10時～15時に子どもの居場所、毎週火・水・土曜日の18時～20時にトワイライトスペースを開設。いずれも不登校や発達凸凹、ひとり親家庭等経済的に厳しい家庭の生きづらさを抱えた子どもたちを対象に、農業や調理など生きることにつながる体験活動を取り入れて、本来の自分の力を取り戻し、心身ともに健康に生きる力を養えるようサポートしています。参加延べ人数：子ども583名、保護者56名、体験活動44回開催。



3. 課題と今後の展望

居場所開設4年目になりました。市内近辺にも生きづらさを抱えた子どもたちの居場所として、認知されるようになり、信頼を得て、市役所や教育委員会からの紹介で、居場所利用につながる子どもたちがいたり、地域の企業や団体から協力の申し出があったりと、とても活動がしやすくなりました。

収入面においては、助成金に頼っていて、収益事業がないことが弱みでしたが、その弱みは、信頼によって強みとなることを感じた1年でした。今後も、地域や

企業、行政からの信頼によって、収入につながることで、協力者が増えることで、より人の温かさに支えられた居場所づくりが展開できると考えています。また、来年度は、他の居場所の参考にもなるように「子どもの居場所安全安心ガイドライン」を策定する予定です。

